



## プログラミング部門 FAQ（よくある質問）

2025/06 /24 掲載

### 【競技形式について】

Q1. パソコン甲子園の予選は個人戦ですか？

A1. 各生徒が予選で獲得した得点そのまま各生徒の予選成績となります。予選では相談はできませんが、予選当日だけでなく準備の段階からチームで教え合い、切磋琢磨してお互いのレベルアップを図ってください。

Q2. 予選について、生徒はそれぞれが解答プログラムを考案・作成するのですか？

A2. 予選では、チームのそれぞれが相談せず、別々に全ての問題を解きます。本選出場チームの選出には、2人の予選成績の合計を用います。

Q3. 本選ではチーム内でどのような協力ができますか？

A3. 本選では、チーム内での相談や分担などの協力が可能です。ただし、第三者との競技に関する相談は禁止します。

Q4. 本選をチーム戦として実施する意図は何ですか？

A4. 予選では個々のプログラミング能力を中心に競いますが、本選では限られた競技時間の中でどれだけ相談や分担ができるかという、コミュニケーションやチームワークを含む、チームとしての総合力が試されます。

Q5. もうひとつの本選ではチーム内でどのような協力ができますか？

A5. もうひとつの本選の実施方法については本選に準じた競技ルールにおいて実施いたします。

### 【総合成績・予選成績優秀者について】

Q6. 総合成績について、本選出場チームに選出されなければ総合成績書は発行されないのですか？

A6. 本選出場チームに選出されない場合でも、予選に参加した全てのチームはもうひとつの本選に出場できます。予選ともうひとつの本選の両方に参加した場合、総合成績書が発行されます。

Q7. 予選成績優秀者はどの程度の人数に与えられるのですか？

A7. 2024大会では、参加者の約25%に与えられました。

## 【プログラム言語と作成形式について】

Q8. 競技で使用できるプログラミング言語は何ですか？

A8. 使用できるプログラミング言語はプログラミング部門競技要項(2.競技ルール)を参照してください。

Q9. プログラムの作成形式はどうなりますか？

A9. 特に指定がない限り、問題の趣旨に沿った「コンソールアプリケーション」を作成してください。また、具体的な作成例は、「過去問」をご覧ください。

Q10. 解答プログラムの作成にあたって使用できるライブラリの範囲を教えてください。

A10. C、C++、Java に付随する標準的なライブラリは使用できます。詳細はホームページに掲載している「競技環境」を確認してください。

## 【予選／もうひとつの本選の実施について】

Q11. 競技実施日に学校行事が予定されているため、別の日程で参加することはできますか？

A11. できません。所定の日程でのみ開催されます。

Q12. 学校で実施できなくなった場合はどうすればいいですか？

A12. 学校以外の場所を会場とすることも可能です。適切な会場をご検討ください。

Q13. 教員の都合がつかず、監督できません。

A13. 学校の判断において、適任な大人を監督者として配置して構いません。

Q14. 感染症に罹患してしまったため、登校することができません。

A14. 学校の判断において、学校以外の場所で適切な監督のもと参加することが可能です。

Q15. ビデオ会議システムを使って監督してもいいですか？

A15. 単にビデオ会議システムによりモニターするだけでは適切に監督したとは認められません。

Q16. チームメンバーを間違えて登録してしまいました。変更は可能ですか？

A16. 競技要項に記載の期日までであれば可能です。メールでご連絡ください。

Q17. チームの一人の具合が悪く欠席した場合、どうすればいいですか？

A17. 選出、入賞の対象外となりますが、個人成績は発行されます。申込みをした担当教員を通じて事務局までご連絡ください。

## 【予選／もうひとつの本選の競技環境について】

Q18. 競技中にウェブ検索やAIを利用して情報を得ることは可能ですか？

A18. 不可です。事前に印刷した情報または書籍等の印刷物を参照することは可能です。

Q19. 競技前に作成しておいたプログラムの使用は可能ですか？

A19. 不可です。紙に印刷して参照することは可能です。

Q20. 競技中、事前にコンピュータに保存しておいたPDFや画像ファイルなどを参照することは可能でしょうか。

A20. 不可です。事前に印刷した情報または書籍等の印刷物を参照することは可能です。

Q21. 普段使用しているエディタやコンパイラの使用は可能ですか？

A21. 可能ですが、「解答を審査する環境」と同様のオプションを設定することを推奨します。(Q22も併せてご確認ください。)

Q22. エディタによるコード補完機能を利用して良いですか？

A22. プログラムの電子的な流用（コピー&ペースト等）と見なされない範囲で利用してください。

Q23. コンピュータの標準機能の電卓は使用可能ですか？

A23. 不可です。問題を解くために必要な計算等はプログラムを書いて行ってください。

Q24. 競技では、自分で所有するコンピュータを使用しても問題はありませんか？

A24. 競技に使用するコンピュータは学校が所有するものの他、学校の判断で適切と認めたものを使用することができます。